

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市 町 村 名 豊中市

実践研究校名 豊中市立第十六中学校

【公開授業】公開日：平成25年 12月 11日

対象学年：3年

(教材・教科書名) 教育出版 ONE WORLD3 (单元名) LESSON6 Protecting Nature	(本時の指導の目標) ・英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 ・整理した情報をもとに、関係代名詞を使って詳しく説明できる。 ・絶滅危惧種についてのクラスメイトの説明を理解することができる。 ・自然保護・野生動物に興味を持ち、自分たちにできることは何か考える。
---	--

(本時の授業において工夫した点)

- ・LESSON6のまとめとして、教科書で行った内容を自分の英語としてアウトプットさせる活動を行う。
- ・絶滅危惧種について知り、考えさせる場面を作る。
- ・単元のテーマである希少動物に重点を置き、流れに沿った授業を組み立てる。
- ・オールイングリッシュに近い形で授業を進めるため、AETのデモンストレーション等で生徒への指示をわかりやすくする。

(授業を終えた教員の感想)

- ・英語が苦手な生徒たちも含め、クラス全体がペアで助け合い、授業に意欲的に参加したので、言語活動を円滑に進めることができた。
- ・ペアでの言語活動はあまり問題なく行うことができるが、クラスへ発表する場面になると自信がなくなる生徒が多いことが課題である。
- ・言語活動を行うのみでなく、絶滅危惧種をテーマとした授業を行うことができた。

【研究協議会】

(テーマ) 英語を自分の言葉としてアウトプットする言語活動とは	(指導・助言者) 豊中市教育委員会 教育推進室小中学校チーム 指導主事 西谷 誠
------------------------------------	---

(研究協議会で出された意見)

- ・授業中の活動に関して、その都度評価規準を示す。
到達目標を示すことで、何をしたらよいか分かりやすくなる。
- ・すべての生徒に本当に指示が伝わっているか、確認をしてから活動に入る。
- ・本時の目標は英語ではなく日本語で生徒に伝え、全員に理解させる。
- ・絶滅危惧種について考えさせた後、自分の意見を日本語で書かせて、まとめてもよかった。

(まとめ)

1. 3年生でのゴールをディベートと定めているため、これからも生徒の発話量の多い授業をしていきたい。
2. 英語が得意でない生徒も、(周りを見ながらでなく)自ら理解した上で活動に参加できるよう、細かくわかりやすい指示、確認をしていきたい。
3. 英語の言語のみを教えるのではなく、生徒が世界に興味を持てるような授業をしていきたい。